

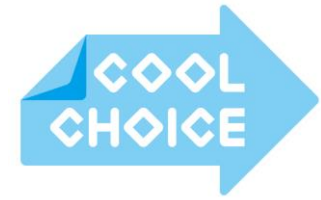
テーマD

地球に優しい 脱炭素社会の実現



市民生活部 市民課 環境推進室

地球に優しい 脱炭素社会の実現



賢い選択

1. 地球温暖化（気候変動）の現状
2. 地球温暖化の原因と対策
3. 地球温暖化をめぐる動向と目指す姿
4. 脱炭素は私たちの暮らしから
5. 本日の議論のポイント



地球温暖化（気候変動）の現状

● 世界の平均気温はこれまでに**1.09℃**上昇

産業革命以来、世界平均気温は上昇し続けています

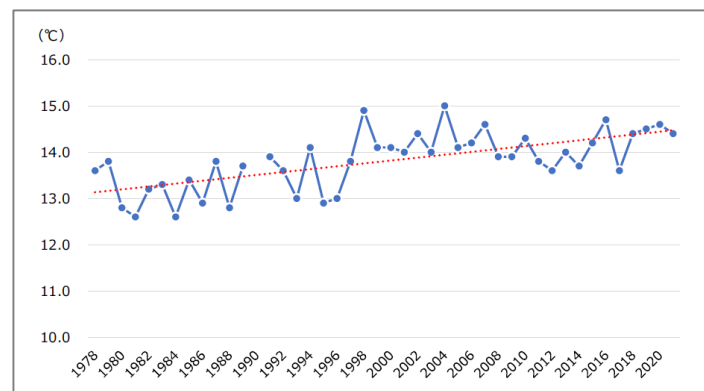
何も対策を行わない場合、2100年には最大で**5.7℃**上昇する予測

● 朝来市における平均気温の推移

朝来市でも、平均気温は上昇しています

● 気候変動によるさまざまな影響

- (1) 熱中症など健康への影響
- (2) 豪雨・洪水による居住地への影響
- (3) 水不足と農業など生態系への影響



出典：気象庁ウェブサイト（和田山地域気象観測所）

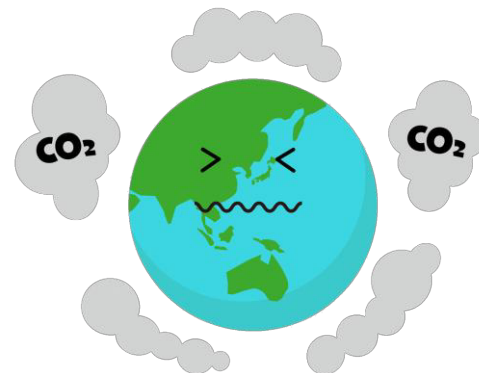




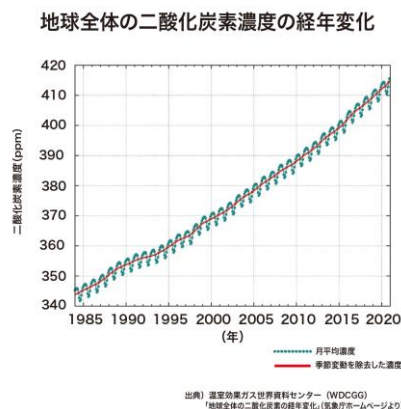
地球温暖化の原因

● 温室効果ガス（温暖化の原因）

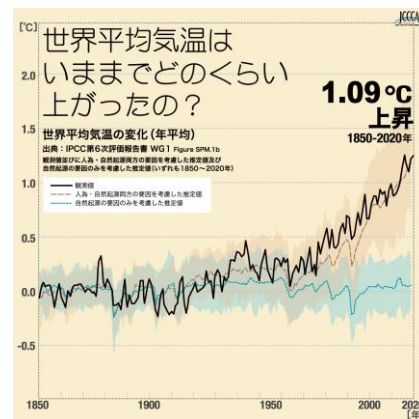
二酸化炭素（CO₂）



産業革命以来、
大気中のCO₂濃度
は産業革命前に
比べて40%も
増加しています



産業革命以来、
世界平均気温は
上昇し続けて
います



出典：全国地球温暖化防止活動推進センター

「**人間の影響**が大気、海洋及び陸域を温暖化
させてきたことには **疑う余地がない**」

IPCC第6次評価報告書より

緩和とは？

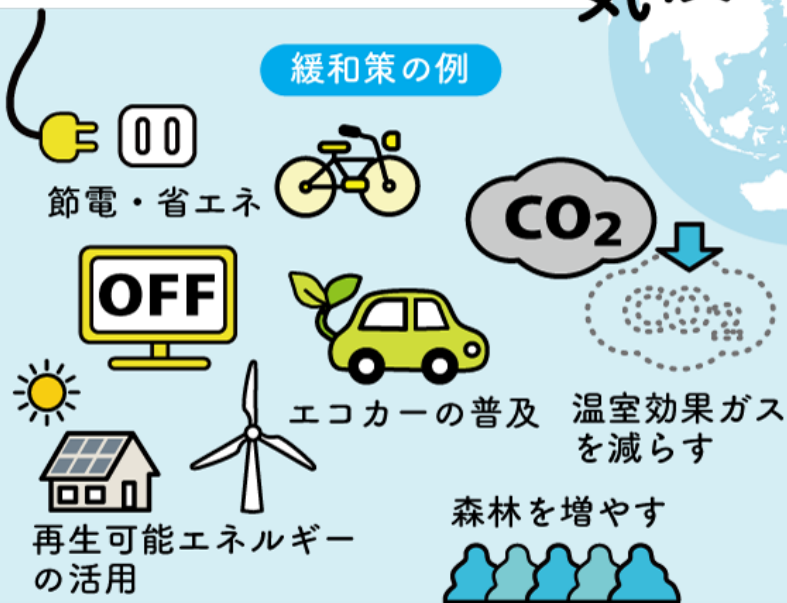
原因を少なく

2つの気候変動対策

適応とは？

影響に備える

緩和策の例



適応策の例



気候変動による人間社会や自然への影響を回避するためには、温室効果ガスの排出を削減し、気候変動を極力抑制すること（緩和）が重要です。

緩和を最大限実施しても避けられない気候変動の影響に対しては、その被害を軽減し、よりよい生活ができるようにしていくこと（適応）が重要です。



地球温暖化対策をめぐる動向

➤ パリ協定

2015年12月 気候変動枠組条約第21回締約国会議 (COP21)

世界の平均気温上昇を1.5℃に抑える努力を追求

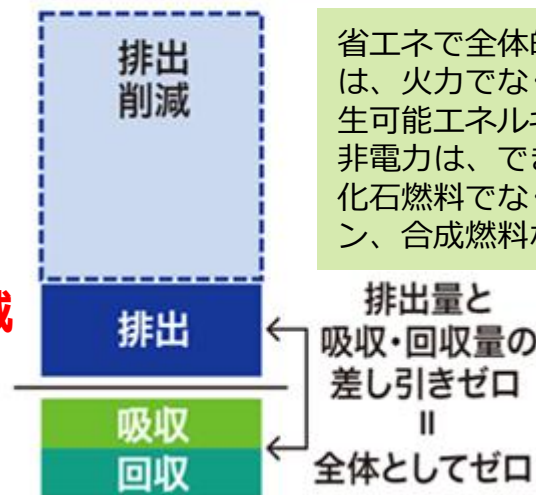
➤ 日本では

- 2020年10月
2050年カーボンニュートラル
脱炭素社会の実現を目指すと宣言
- 2021年10月
2030年度に2013年度比46%削減
さらに50%の高みに挑戦を表明

国名	削減目標	今世紀中頃にに向けた目標 ネットゼロ（実質ゼロ）
中国	2030年までに GDP当たりのCO ₂ 排出量を2005年より削減することを目標とする ※CO ₂ 排出量のピークを2030年より前にすることを目標とする 65%以上削減 (2005年比)	2060年までにCO ₂ 排出を実質ゼロにする
EU	2030年までに 温室効果ガスの排出量を1990年比に55%以上削減	2050年までにCO ₂ 排出を実質ゼロにする
インド	2030年までに GDP当たりのCO ₂ 排出量を2005年比に45%削減	2070年までにCO ₂ 排出を実質ゼロにする
日本	2030年度において 46%削減 (2013年比) ※さらに、50%の高みに向け、挑戦を続けていく	2050年までにCO ₂ 排出を実質ゼロにする
ロシア	2030年までに 30%削減 (1990年比)	2060年までにCO ₂ 排出を実質ゼロにする
アメリカ	2030年までに 温室効果ガスの排出量を2005年比に50-52%削減	2050年までにCO ₂ 排出を実質ゼロにする

↓ 温室効果ガス排出量
差し引きゼロのイメージ

出典：全国地球温暖化防止活動推進センター



省エネで全体的に削減しながら、電力は、火力でなく、脱炭素電源である再生可能エネルギーや原子力を活用する。非電力は、できるかぎり電化をすすめ、化石燃料でなく、水素、メタネーション、合成燃料などを利用する。



地球温暖化対策での日本の目指す方向

● 2021年10月 地球温暖化対策計画の改定

温室効果ガス排出量・吸収量 (単位：億t-CO ₂)		2013排出実績	2030排出量	削減率	従来目標
		14.08	7.60	▲46%	▲26%
エネルギー起源CO ₂		12.35	6.77	▲45%	▲25%
部門別	産業	4.63	2.89	▲38%	▲7%
	業務その他	2.38	1.16	▲51%	▲40%
	家庭	2.08	0.70	▲66%	▲39%
	運輸	2.24	1.46	▲35%	▲27%
	エネルギー転換	1.06	0.56	▲47%	▲27%
非エネルギー起源CO ₂ 、メタン、N ₂ O		1.34	1.15	▲14%	▲8%
HFC等4ガス（フロン類）		0.39	0.22	▲44%	▲25%
吸収源		-	▲0.48	-	(▲0.37億t-CO ₂)
二国間クレジット制度（JCM）		官民連携で2030年度までの累積で1億t-CO ₂ 程度の国際的な排出削減・吸収量を目指す。我が国として獲得したクレジットを我が国のNDC達成のために適切にカウントする。			-

出典：環境省



地球温暖化対策にかかる朝来市の方針

➤ 第3次朝来市**総合計画**では

持続可能な社会を構築するため、地球に優しいエネルギー使用とごみの減量化や資源循環の推進を図ります

木質バイオマス、太陽光及び小水力発電等の新エネルギー利用による温室効果ガスの削減や再生可能エネルギーの普及を推進します。また、省エネルギーを促進するため、普段の暮らしの中での身近な取組を啓発するほか、住宅や建物における省エネルギー性能を高める改修や省エネルギー型の製品に関する情報提供を推進します。

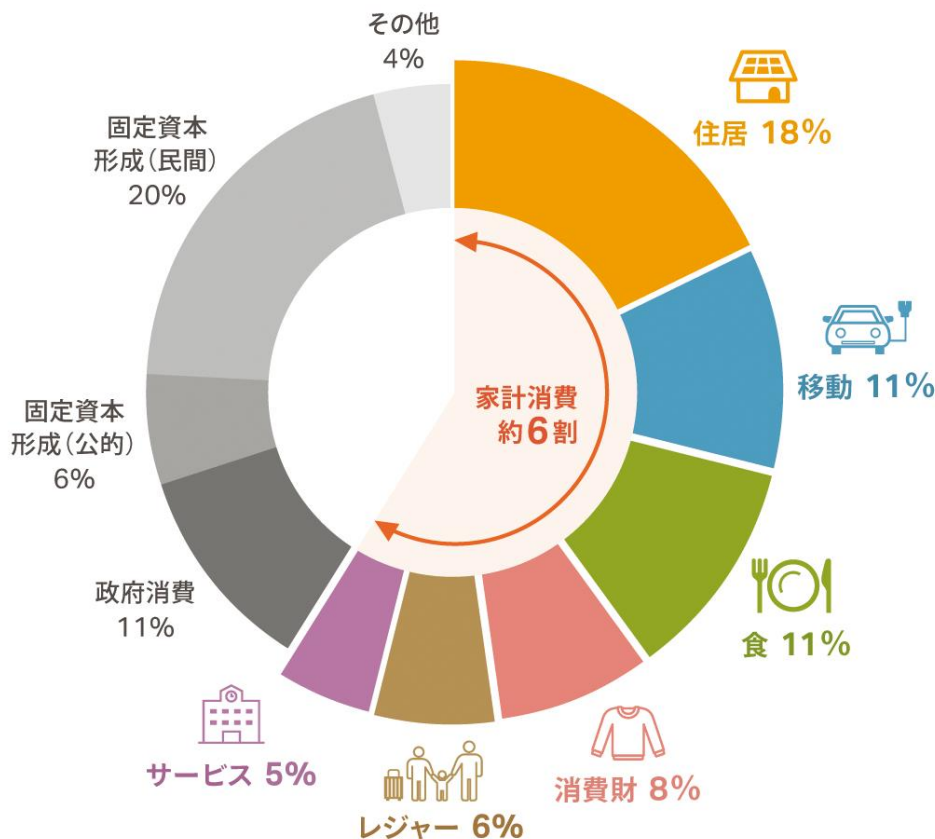
➤ 第3次朝来市**環境基本計画**では

地球環境にやさしいまちの実現に向けたエネルギーの効率的な利用と創出に取り組みます



脱炭素は私たちの暮らしから

- 日本のCO2排出量の**約6割**が、衣食住を中心とする「**ライフスタイル**」に起因しています



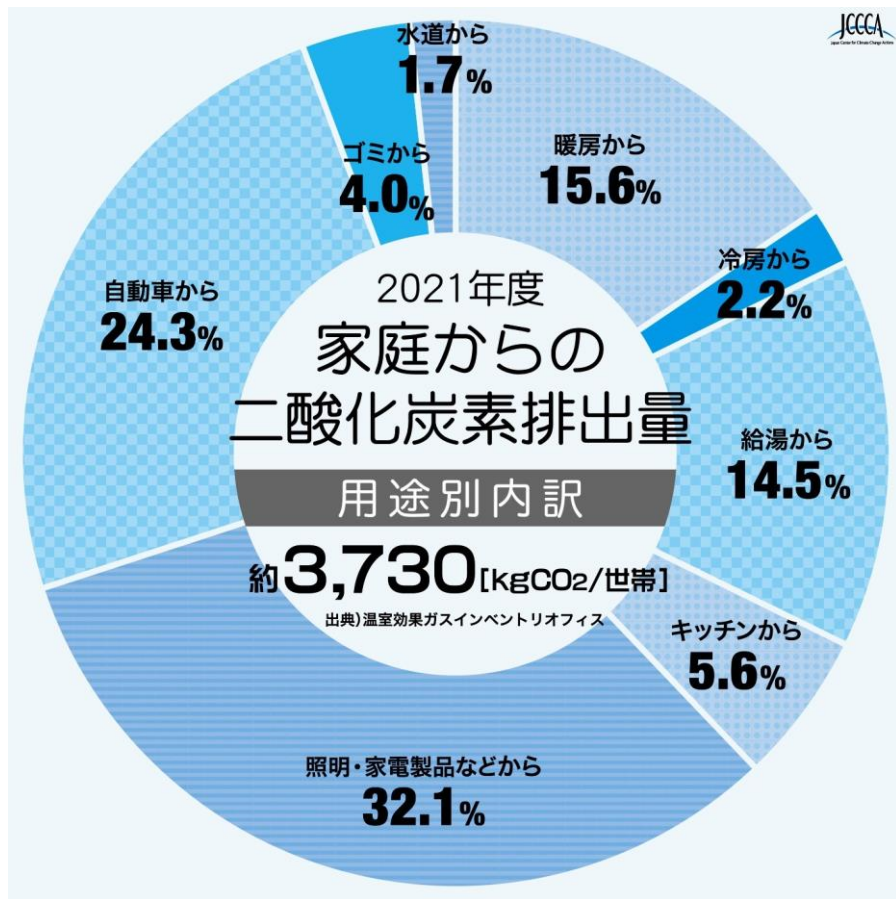
脱炭素社会の実現には、
ひとりひとりの
ライフスタイルの転換が
重要です

出典: 環境省

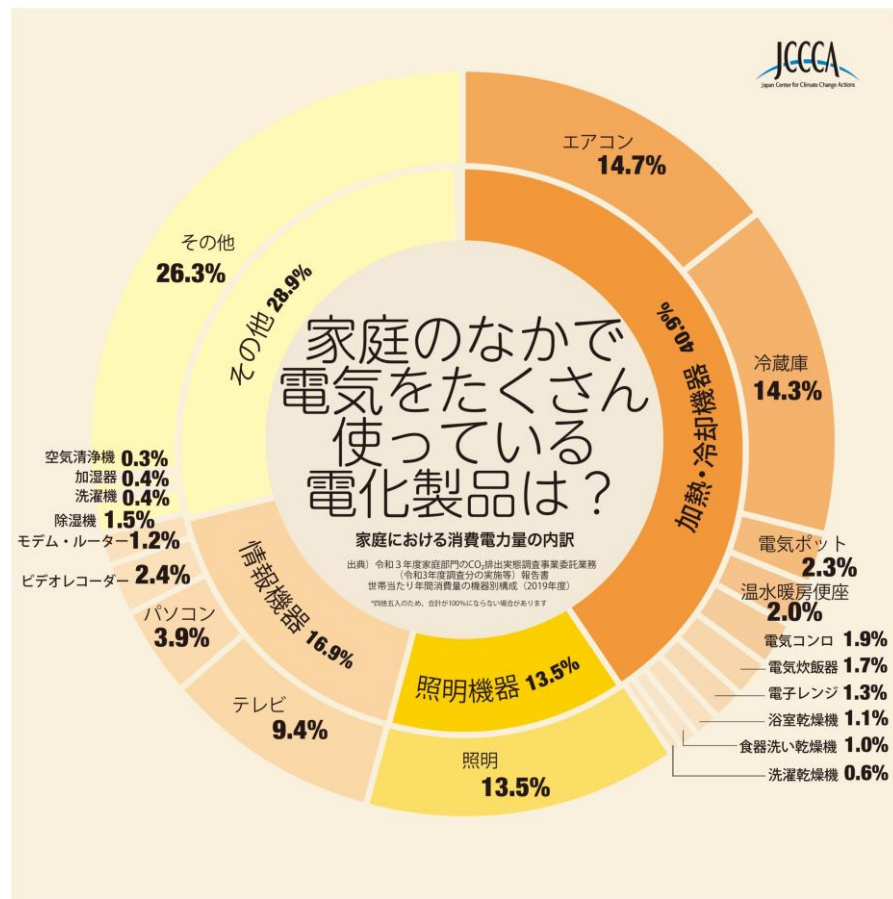


家庭での二酸化炭素の排出について

➤ 家庭からのCO2排出量



➤ 家庭での電気製品

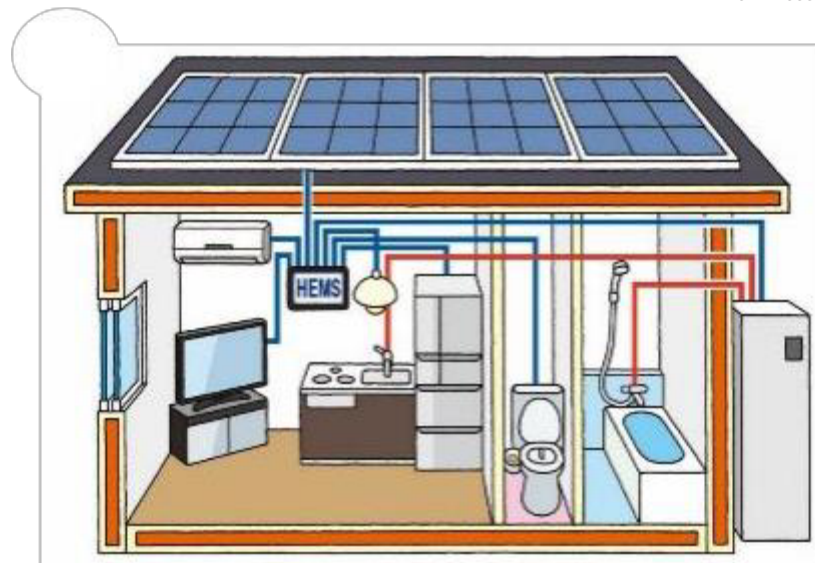


出典: 全国地球温暖化防止活動推進センター



家庭やオフィスでの対策 ①

- 住宅の省エネ化（高断熱化(新築・既築)）
- 省エネ家電・高効率給湯器の導入
- 徹底的なエネルギー管理の実施（HEMS）

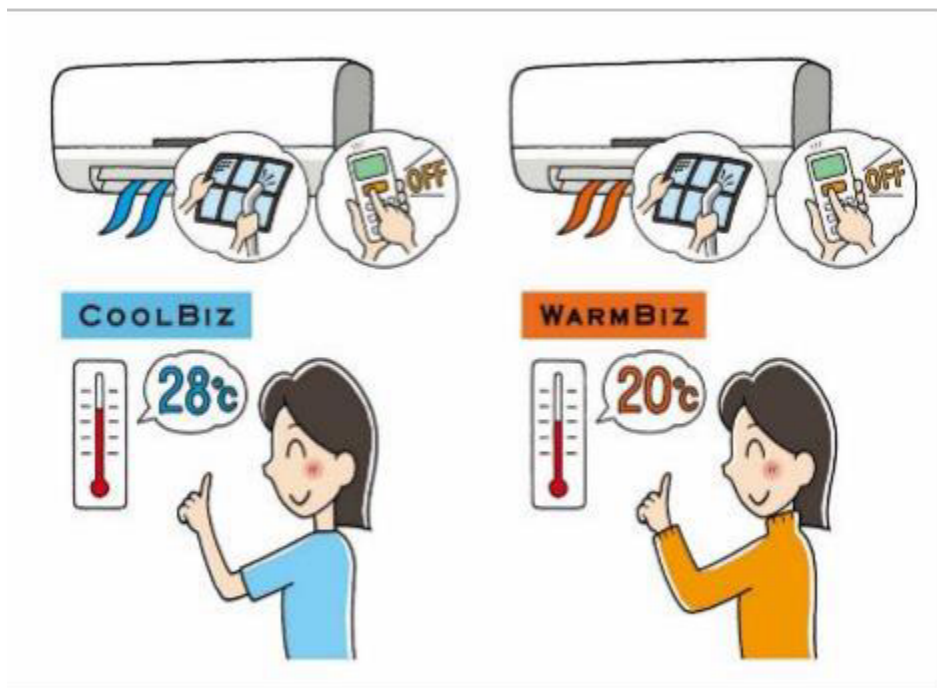


出典：環境省



家庭やオフィスでの対策 ②

- 省エネ行動（クールビズ・ウォームビズ・照明や家電の適切な利用）
- グリーンカーテン・屋上緑化・壁面緑化

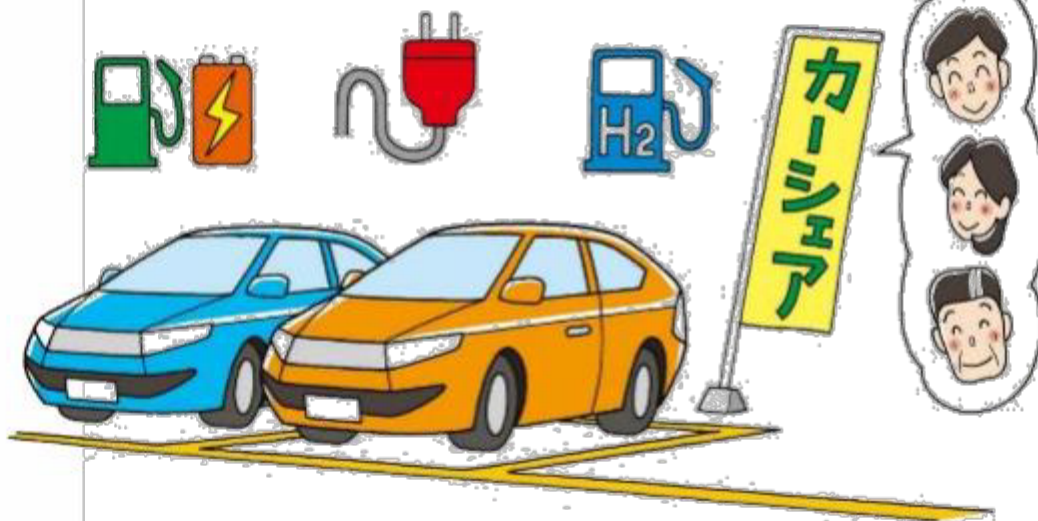


出典：環境省



交通・物流での対策

- 徒歩や自転車、公共交通機関等の利用
- 燃費の良い次世代自動車[プラグインハイブリッド、電気自動車、燃料電池車 など]に乗る

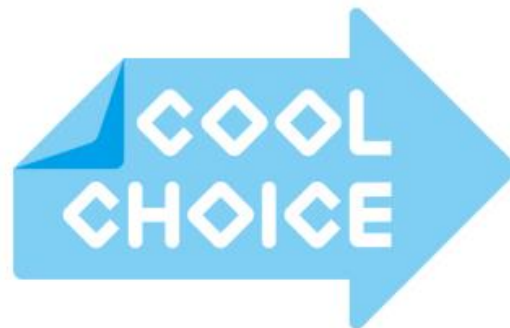


出典：環境省

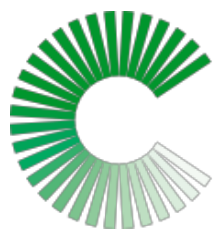


「賢い選択」 COOL CHOICE

「COOL CHOICE」とは、CO₂などの温室効果ガスの排出量削減のために、脱炭素社会づくりに貢献する製品への買換え・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、**地球温暖化対策に資する「賢い選択」**をしていこうという**取組**のことです。

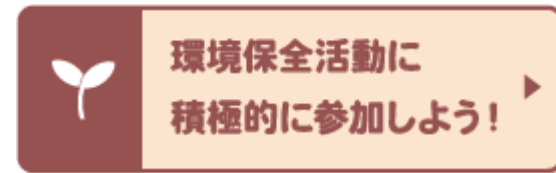
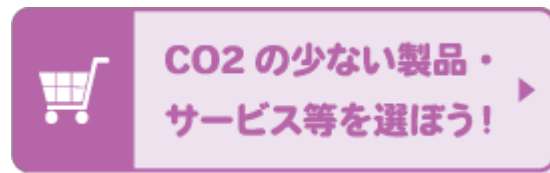
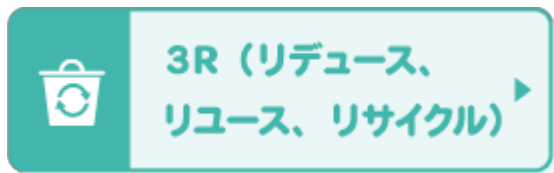
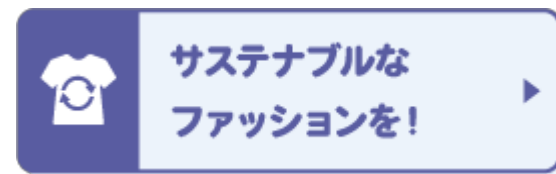
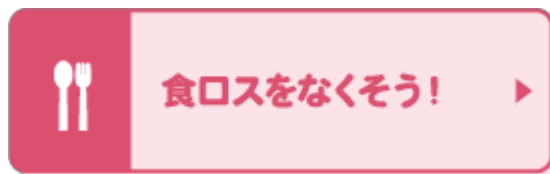
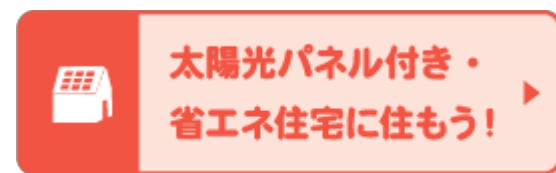
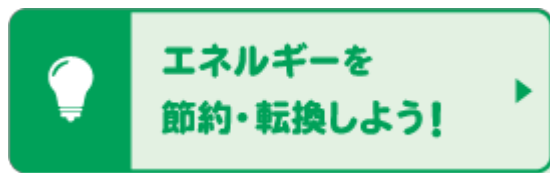


賢い選択



ひとりひとりができること

ゼロカーボン アクション30



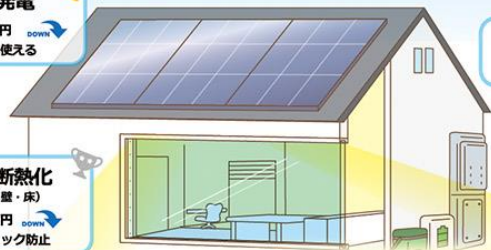
出典: 環境省



ライフスタイルの変革を促す新しい国民運動

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後

太陽光発電
年5.3万円 DOWN
災害時にも使える



高効率給湯器
年3.5万円 DOWN

はかり売り・自動決済
年3時間 UP
好きなものを好きなだけ

サステナブルファッション



住宅の断熱化
(窓・屋根・壁・床)
年9.4万円 DOWN
ヒートショック防止

LED照明
年3千円 DOWN
年0.4時間 UP

省エネ家電
(冷蔵庫・エアコン・HEMS)
年2.8万円 DOWN

公共交通・自転車
徒歩
年1.2万円 DOWN

次世代自動車
年7.5万円 DOWN
自動運転で年323時間 UP
給油不要なら年2時間 UP

テレワーク
年6.1万円 DOWN
年275時間 UP

クールビズ・
ウォームビズ
年4千円 DOWN

ごみの削減・
分別
年4千円 DOWN

地産地消・食べきり
年9千円 DOWN

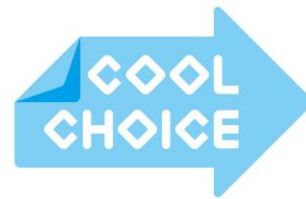
節水
(キッチン・洗濯機・シャワー・トイレ)
年1.6万円 DOWN

毎月3万6千円浮きます (年43万円)

一日プラス1時間以上を好きなことに (年388時間)

出典：環境省

地球に優しい 脱炭素社会の実現

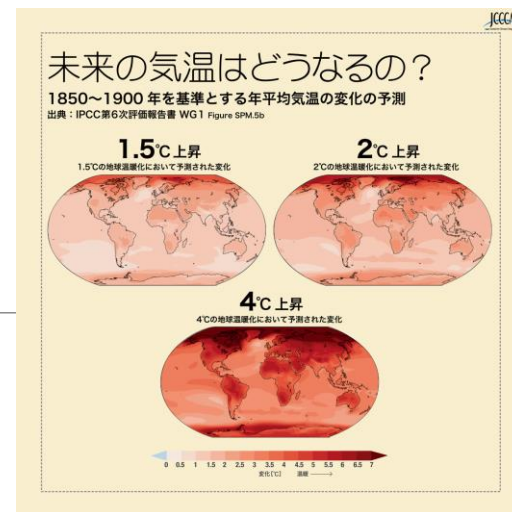


賢い選択

1. 地球温暖化（気候変動）の現状
2. 地球温暖化の原因と対策
3. 地球温暖化をめぐる動向と目指す姿
4. 脱炭素は私たちの暮らしから
- 5. 本日の議論のポイント**

本日の議論のポイント

地球に優しい 脱炭素社会の実現のため



出典：全国地球温暖化防止活動推進センター

- あなたは、どのようなことをしていきたいですか？
- どうしたら、みんなで取り組みを広げていけるでしょうか？